

# 8月11日(火)第2日目 時々雨、時々晴れ

時間	場所	内容
5:00	ホテル	目が覚めた！ 隣のベットではひー君の寝息が……。完全に時差ボケ!! 目が覚めてしまった。まだ起床時間まで時間がある……。2時間ひと仕事出来るな！ っと起き上がり机の前に座ると……。間髪入れずにあくびが……。ZZzzz. . . . ZZzzz.
6:50		起床 光を起こしてホテルの外へ。



朝からテンションが高〜い!

眠い!  
By Ryuka



## 朝の散歩……ぶらぶら

朝7時に起ききれなかった、集合できなかった部屋が3部屋6人。さて、誰でしょう???

築400年以上の木造建物の前で



散歩中 道路の真ん中に買い物のおばちゃんが……。



光のナイフ使いその①



7:30 ホテル

ドイツの朝食が始まる。  
みんな一斉にパンに群がる……。  
何があるって？ 菓子パン あまーいクワッサン、チョコレートパン、ドーナツなどなど。



もっとドイツっぽいもの食べろ!!  
by shin



時間	場所	内 容
食事後	ホテル	<p>自由行動</p> <p>まずは写真の3人を連れて水の買い出し・・・。  今日はトレーニングと夕方は試合がある。  たくさん買っておかないと・・・・・・。  最後は、やっぱり水がないと・・・・ね。  こっちでは、ここ2・3年ミネラルウオーター（炭酸なし）が主流になってきたが、その前は炭酸なしの水を探すのに凄く苦労した。どこもかしこも炭酸入り・・・俺は大丈夫だけど、選手たちは、いつも拒否反応！</p>  <p><b>『俺は炭酸飲めない！！』</b>…とか言って拒否する選手が多いんだよね。  でも、ホストチームとのバーベキューの頃にはみんなファンタとかコーラとか、もちろん炭酸入ってるジュースをがばがば飲んでるんだよね。  <b>『おまえ、炭酸飲めなんじゃないの??』 『えっまあそうなんですけど・・・・。』</b> その飲んでる顔は笑顔だったりするんだよね(*^_^*)。</p> <p>っということで今回は、炭酸抜きの水をしっかりと買い込みました。</p>
10:30	Vfb03 Hilden	<p>トレーニングのため移動 歩いて10分</p> <p>俺にとってはホームグラウンドのような場所。  3年前に人工芝に整備したホストチームのホームグラウンド。日本の人工芝とはちょっと感じが違うかな。その芝に慣れるために、そして長時間飛行機に乗ってなまっている体を起こすために練習！</p>  <p>トビーが山梨に来た時、  武田神社の前で・・・</p>    <p>トビーに再会。約1か月前に日本に2週間（皆川宅にホームステイ）いて、プラッツでの練習にも参加しているので、今回の選手たちとは、もう友達!!</p> <p>今回、一緒に行動してくれ光の相手も良くしてくれた。</p>  <p>見るなよ!!</p>
12:30		<p>トレーニング終了 ホテルへ移動 その後昼食会場のレストランへ移動</p>

時間	場所	内 容
13:00	レストラン	<p>昼食</p> <p>外で食事 気持ちいいよ～。</p> <p>【本日のメニュー】</p>    <p>いただきます(〜)</p>  <p>ドイツレストランでの昼食、夕食。絶対にお米は出てこない食事……どこまで選手たち愚痴を言わずに食べられるか??それと結構ボリュームもあるので……がんばれ!</p> <p>日本で遠征のとき食事でごまごごしているのが特に早坂と渡辺龍馬であったが、驚いたことにドイツでの渡辺は、日本でのご飯のようにパクパク食べる。それは見事な食べっぷりであった。他の選手もあせん……とするほどびっくり。なぜでしょうね? お母さん日本に帰ってからどうですか??</p>
食事後	ホテル	食事後、ゲームへの出発時間まで自由 ホテルでくつろぐもよし、街に行くもよし!
16:45	ホテル	試合へ移動のため、ホテル前に集合。 ユア一氏が、4台の車を用意してくれ、私の車と合わせて分乗し、出発。
17:15	デュッセルドルフ市内 Flinger Broich87	<p>約30分の車での移動 そしてクラブハウスへ 敷地の入り口を入り、クラブハウスへ歩を進めると、 クラブハウスの外壁に《F95》の看板が。→ それを見た選手が、</p> <p><b>『うちの《f98》に似てる!』</b></p> <p>すると早坂が、</p> <p><b>『皆川さんは、ここのチームの3年後にフォルトウナを作ったんだね!?!』</b></p> <p>と俺に言ってきた。</p> <p><b>『ちがうよ! ここの95は1895年だよ。フォルトウナは1998年、つまり100年の差があるんだよ。』</b></p> 
【ちょっと一言】 創設時、F95を見本にf98は名づけられました。そこでFの大文字をつかうのは恐れおこしたので、fという小文字にしたんですね。 By shin		
17:30	ロッカー室	<p>ドイツのクラブの歴史には、まだまだ日本は追いつかない……ずーっと追いつきそうもないね。私が3月にS級コーチのインターシップで研修をしたチームは、1860Muenchen  つまり1860年に創設されたチームなんだ。日本もドイツのようなクラブ組織、本当に地域に根差したクラブになって行くのはいつのことだろう……。</p> <p>フォルトウナ98を南アルプス市の上今諏訪地区の皆さんにもっとも活用していただき地域に密着して行きたい。そして地域の為のプラッツになって行けばいいなーと願う。</p> <p>第1回目のドイツ遠征で“けじめの対決”をやったところ。ロッカー室も変わっていない。</p> 

時間	場所	内容
18:00	デュッセルドルフ市内 Flinger Broich 87	クラブ命名の源になったここドイツのフォルトゥナ。Fortuna Dusseldorf ブンデスリーグ2部に所属するトップのチームからU-9までの12のカテゴリーを所有しているクラブ。トレーニングしている背後にあるスタジアムは、“PAUL-JANES-STADION”、U23・U19の試合が行われるスタジアムだ。



## fortuna98 vs Fortuna Duesseldorf U-16

4     $\left( \begin{array}{cc} 2 & - & 1 \\ 2 & - & 3 \end{array} \right)$     4

【得点経過】: 11分込山、30分F95、32分寄特、41分F95、50分込山、54分F95、56分寄特、70分F95



<b>《前半》</b>	<b>対馬</b>	<b>込山</b>	 ↓ 試合後のセレモニー	<b>《後半》</b>	<b>堀川</b>	<b>鷹野</b> (渡辺)
裕明	寄特	田中 (石原)		清水 (悠樹)	高木 (陶山)	今村 (大地)
	早坂			柿沼		
上田	横森	小池 小俣 (小沢)		玄樹	陽	中込 佳亮
	石橋			丸山 (政洋)		

【戦評】 第1回の遠征以来の対戦。8年ぶりの対戦となる“Fortuna Dusseldorf”、自分的には兄弟対決!?と思っている……相手のスタッフは、8年前ともちろん変わってはいるが、コーチのミハエルさんに、我がチームの命名のいきさつ、8年前の対戦...のことなどを試合前に話し、今日も真剣勝負で戦いますのでよろしく！と伝えて始まった。

ブンデスリーグの下部組織チーム、初戦にしては強豪相手だ。Helmut Jur (Hilden U-17監督)も『要注意だ!』と助言をくれた。ゲームはF95のペースでスタート。F95の右サイドFWには日本人選手…彼は小学生まで横浜マリノスでプレーし、父親の仕事の関係でトルコのイスタンブールに行き、そしてここドイツにやってきた。トルコでも評判の良い選手だったということだが、ここF95でも評価が高く、U-17のチームにも声がかかっているようだ。彼はスピードがあり、テクニックも備えた優れたFWであった。そしてチームの中心選手として動いていた。がんばってほしい。

11分込山が相手DFをかわしシュートした…ネットを揺らす。先制点をとった。いつものことだが、遠征1戦目、我々の力を試され、そして今後の対応を占う(なめられるか?……)重要な試合だ。

時間	場所	内 容
		<p>昼のTRでは、課題であるゴール前の攻防、クロスボールの対応のTRをやったが、球際についてはまだまだ弱さを露呈し、今日の試合では痛い目にあいそうだと変な予感があった。</p> <p>そんな中での先制点。大きい得点だ。しかしその20分後、左サイドを崩され失点、しかしひるむことなく積極的に攻撃を仕掛け、2分後には込山と寄特のコンビネーションで追加点を奪った。前半2-1を折り返した。</p> <p>ほとんどの選手を入れ替えスタートした後半、いきなり失点!! 左右に振られ、DFの横ずれに対応できず最終的には中央の選手をフリーにしシュートを打たせた……一瞬であった。選手を入れ替えると力の差が出るということは、まだまだ選手の層が厚くなっていないということ。この遠征ですべての選手に試合経験、厳しい試合を体感させ、選手たちの意識を変えて日本に戻って力をつけていかせたい。</p> <p>2対2となりリズムはF95に……。しかしここから選手たちは凄かった。気落ちせず相手ゴールに向かっていった。その姿は、たくましくなったなあと思わずにいられなかった。試合は、4対3……残り時間5分。F95にもプライドがある……怒濤の攻撃をF98は浴びた。ここで耐えられれば、彼らも力が付き自信となるのだが……やはり、……踏ん張れなかった。追いつかれた。西日本遠征でも同じような試合があったが、最後の最後でやられてしまう……いやな習慣が付きそう!! この遠征期間中に何とか克服したい。みんな一丸となつてがんばれ!!</p> <p>試合後、多田君と交流を持ち、激励をした。</p>
21:00	レストラン	<p>終了後、ロッカールーム行き、シャワー!!</p> <p>こんなロッカールームがほしいなあって、いつも思う。 無理だよな。</p> <p style="text-align: center;"><b>スポーツマンのお尻第2段!!</b></p>  <p>【夕食のメニュー】 スープ メインディッシュ デザート</p>   <p>ドイツ飯にも慣れて、みんな笑顔で、乾~杯!</p>   <p>試合後、ホテルに戻り、急いでいつものレストランに……。今日のメニューは、やっぱり肉……茶色いスープ……みんな、おいをかぎ始めた……。</p> <p>そして、カツ2枚 ナイフとフォークの扱いもうまくなり、手際よく食べてました。 最後は超大盛りアイスのデザート。これも上手い。</p> 
23:00	ホテル	食事後、それぞれホテルの部屋に……。私も時差ボケで……ベッティン……。

## 【陶山 大志】 Suyama Taishi

朝7時集合のときに寝坊をしてしまい、腕立て伏せをしました。散歩をしてバイキング形式で朝食を食べました。おいしかったです。午前中練習をしました。全然だめだった？ グランドの感覚がつかめなかった。そんな中、午後ゲームがあった。プレッシャーが速くて、体が速い相手にフォルトウナは勝負できていなかった。

ドイツ人はみんなテンションが高くて、あまり話しかけれなかった。日本語が伝わらないからすごく困った。でも、ドイツ人はやさしい人が多く、僕たちを助けてくれてうれしかったです。ドイツ語を使ってみたけど、あまり伝わらないし、「ありがとう」、「おはよう」、「こんいちは」……くらいしか使えないから困った。でも英語が話せる人がいて良かったです。

この日サッカーは、トラップ、パス…基本などができていなくて全くだめでした。また明日からいろんなことに挑戦していき、サッカーもドイツ人とのコミュニケーションも、がんばっていきたいと思います。



## 【高木 稜平】 Takagi Ryouhei

朝7時に集合。遅刻した人もいた。

散歩をした後、朝食。バイキングの種類が豊富だった。

午前練習 ドイツのグラウンドは日本より少し硬くて、ボールの進み方が早かった。トラップがうまくいかなかった。

午後の試合 vs フォルトウナ・デュッセルドルフ 相手のプレッシャーが思った以上に早く、体が強くてボールを奪われる場面が多かった。試合中铁のポールに頭をぶつけて痛かった (@\_@:)

ドイツでの本格的な生活がスタートしたが、もちろん周りは日本語を話せる人がいないので、少し困ったが、コミュニケーションはとれたと思う。また「ありがとう」「おはよう」などの基本的なドイツ語を覚えることが、できたと思う。ドイツ人はみんな陽気でテンションが高くて驚いた。特に試合会場までの車中では、運転手さんが声をかけてくれ、少し話すことができたのでよかったと思う。

サッカーに関しては、相手のプレッシャーが早い中で、もう少し判断が早くできると良いと思った。またファーストタッチをもっと工夫した方がいいと思った。これから対戦するチームも、体が大きい選手が多いと思うので工夫してプレーしていきたい。